

7月

新着図書

劇場という名の星座

著者名： 小川 洋子
出版社： 集英社

光と闇、生と死、絶望と愛……この世のすべてを内包する、比類なき劇場【帝国劇場】。2025年2月をもって一時休館となった同劇場の記憶を未来へと繋ぐ、世界でたった一つの“帝国劇場”小説が誕生！舞台上でスポットライトを浴びるスター、誰かにとっての特別な一日を支える案内係や売店スタッフ、客席から見えない裏側で上演を支えるエレベーター係や幕内係、そして観客……。劇場を愛し、劇場を作り上げてきた人々の密やかな祈りと願いがきらめく、豊饒な短編集。

ブティック

著者名： 池井戸 潤
出版社： ダイヤモンド社

「君、銀行辞めて、どうするの？」 入行3年目、エリート街道を歩んでいた雨宮秋都は、ある案件をきっかけに、理不尽な戦力外通告を受けてしまう。退職を決意した秋都が見つけた、新たな希望とは――？

さばの缶づめ、宇宙へいく

著者名： 小坂康之
出版社： イースト・プレス

ドラマ化
原作本

「宇宙食、作れるんちゃう？」
はじめは生徒の一言だった。
数々の困難をのりこえる大気圏突破ノンフィクション！
地域の名産「よっぱらいサバ」の缶づめが、宇宙へ旅立った！ そこには12年にわたる物語があった。一筋縄ではいかない開発、学校統廃合の危機。葛藤の中で一人一人が力を合わせたとき、宇宙への扉が開いた――。
「大きすぎる夢は、一人で実現するのは難しい。でも長い年月をかけて、一人一人が力を合わせた時、信じられないことが現実になることがある」
2022年発行高校英語の教科書（三省堂刊）でも紹介！
小浜水産高校から若狭高校へ引き継がれた、宇宙食開発のもようを、宇宙ライターの林公代氏が詳細な取材で迫る。

多類婚姻譚

著者名： 凧良 ゆう
出版社： 講談社

直木賞
候補作

どうして結婚はこんなに難しくなってしまったのか。ジェンダー、金銭感覚、世代間格差など、様々な価値観の対立の中で生きる私たちの祈りと叫びを描く。

まだまだここから

著者名： 宇佐美 牧子
出版社： ポプラ社

コンクール
課題図書

蓮は、小学4年生。運動はそんなに得意じゃないけれど、「水泳」だけはちょっぴり自信がある男の子。そんな蓮に、ある日スイミングスクールの「特訓生」になるチャンスが訪れます。これまででいちばん練習をがんばって、ついに迎えた検定の日。けれど選ばれたのは、がんばっていた蓮ではなく、弟の凧で……。
がんばったことが実らなかったとき、すべては「むだ」になってしまうのかな？

市民プールで出会った新しい友だちの陽太や海音、家族やコーチとの交流を通して、蓮は「がんばった」ことの先にある、本当の意味を見つけていく。

くじけそうなあなた、コツコツがんばっているきみへ贈る物語。

ハンディ版 それ犯罪かもしれない図鑑

著者名： 小島洋祐
出版社： 金の星社

子どものちょっとした行動が、じつは法を犯しているかもしれない。冒険心で、あるいはいたずら心でやっしまいそうな行動から、明らかなNG行動まで、言われないと気づけない違法行為の数々を紹介。法律を身近に感じられる楽しい一冊。